



荒川中だより

村上市立荒川中学校 平成27年度 第4号
平成27年10月2日発行 TEL 0254-62-3251

教育目標「めあてをもって 自分で考え ねばり強くやり抜こう」
平成27年度の重点目標
「確かな学力の向上」「社会性の育成」「健康・体力の向上」「特別支援教育の充実」

校長 長谷川 浩志

「自分は、きっと想像以上だ」

最近見たスポーツ飲料の commercials で、次の詩が流されていました。

情けない顔の生徒諸君 今は気づいていないけれど 大きな力が眠っている
好きにやれよ 動かせ 動かせ 世界を動かせ
行け！ 動かせ 動かせ 世界を動かせ
何もできない 君たちは 可能性だけがある 君たちだ
自信の無い顔はやめて 自分というのぼりを立てる
動かせ 動かせ 世界を動かせ
「私はまだ何者でもない。だから、何にでもなれる。」
自分は、きっと想像以上だ 潜在能力をひき出せ。



commercials ではありますが、生徒の今を適切に捉えている詩だと思います。我々大人は、子どもの周りにいて、自分でも気づいていない子ども自身が持つ大きな力や可能性に気づかせ、自分ののぼりを立ち上げさせる（自立）手助けをするだけです。自分は、きっと想像以上だという自信をもち何にでもなれると信じて、中学校時代を駆け抜けていってもらいたいと思っています。



今年度荒川中学校が目標としているのもこのことです。それを体現してくれたのが体育祭でした。今年の体育祭は、「生徒がつくる体育祭」を合い言葉に、できる限り生徒を前面に立たせて、準備や練習を行ってきました。その結果、昨年までの常に先生方がそばについている姿はなく、遠巻きで見守る先生方の中で、連合長や応援団長が全体に指示を出し自分の連合を動かす姿が随所で見られました。

当日のグラウンドでも、安全確保以外の場面では、そばに先生方がおらず、自分たちの考えと力で運営する生徒の姿が見られました。一生懸命自分たちで考え、話し合い、打ち合わせを行い自分たちの判断で行動する頼もしい姿でした。

先生方からも、「生徒は自分が思っていた以上の力を持っている」「生徒が自分でやり遂げていく姿を見るのが、教師としての自分の達成感につながった」「来年も生徒が達成感や感動を味わえるようにサポートしていきたい」といった声が聞こえてきました。



しかし、この「子どもの力を信じ、体験させることで学ばせ、自分の成長を実感させる」やりかたは、学校でもご家庭でも、時間と手間のかかる辛抱のいるやりかたです。自分がやった方が早いし、あれこれ細かく指示した方が手間がかかりません。また、ただ見ているだけでは経験のない子どもはどうやったらいいか分かりません。子どもの今をしっかりと見取り、気づかせ、自分で考えさせ、やったことをしっかりと認め、且つ助言してやるのが大切となります。よく「小学校と違って中学生になると、手がかからなくなる」といった言葉を耳にしますが、本当は逆なのです。ぜひ、ご家庭でもこのやり方を実行してみてください。きっとお子さんは、想像以上の力を持っているはずですよ。

体育祭の応援ありがとうございました



多くの保護者、地域の方においでいただき見学、応援をいただきました。また、PTA種目にもたくさんの方に参加していただき、体育祭を盛り上げていただきました。ありがとうございました。

それぞれの学び

【1年生】

9月3日(木)体育祭前の貴重な1時間を使って、1学年が荒川の恵みと危険性について、1時間学年全体で授業をしました。

沢登り体験から得た、危険予知や溺れた場合の対処法、川の増水や濁水への対処、車が水に落ちた場合の対処法をグループを使ったりワークシートを使ったりして、様々な場面を想定した知識を教えていました。また、ビデオを使って川の恵みや羽越水害についても学んでいました。このような積み重ねをすることで、我々が親しみ誇りに思う「荒川」を本当の意味で身近に思い、自分の原風景の中に組み入れていてもらえると考えています。

また、10月15日(木)の午後に行う「職場訪問」の準備も行っています。23の事業所の方に協力していただき、働く意味や喜び、辛さを学んできます。これからの進路を考えて行く土台を学び取ってきてくれることを願っています。

【2年生】

2年生は、10月15日(木)に行う、新潟巡検の準備が大詰めを迎えています。修学旅行における班別自主研修のリハーサルも兼ねて、新潟市で職場や上級学校訪問を行います。社会人としての礼儀やマナー、上級学校の雰囲気を大いに学んできてほしいと思っています。



【3年生】

最も大きな学びは、「できる自分の発見」だったと思います。天候が不順で、グラウンドを使った練習が満足にできなかった今回の体育祭でしたが、生徒会や学年委員会、種目責任者、各係長などを中心に熱心に動きを確認していました。その時のリーダーの表情と生徒の真剣な聞き方、また、全体の笑顔などリードした3年生にとっては大きな収穫の秋となったと思っています。



＜体験入学時在校した生徒の自習の姿＞

受験生としての3年生が始まっています。テスト前に質問に来る生徒、テストを返した後間違ったところを聞きに来る生徒が増えています。夏からの体験入学も刺激になっているのかなとも思います。生徒の口からも「受験生ですから」といった言葉を聞くようになっていきます。

【全校】

合唱コンクールの実行委員会が活動を始めました。全校でその活動内容を聞き各学級から選出していきました。今度は、実行委員・パートリーダー・指揮者が学級を学年を全校を引っ張ってくれると思っています。



9月30日 第2回避難訓練を行いました

「訓練です。地震発生。直ちに机の下に隠れ、身体を保護しなさい」

「落下物に気をつけながら、静かに次の指示を待ちなさい」

*全学年が静かに放送を聞き、待機をしていました。そして30秒後、

「津波警報が発令されました。学級担任の指示に従って屋上に避難しなさい。」

*一斉に廊下に整列し、担任の指示を聞きました。1年生が廊下に出た時少しざわついたのが残念でしたが、全体的には整然と頭を本などで守り避難できました。



*屋上への避難風景です。出入り口が狭く、階段では次の学年が待機することになりました。津波は、最速の短距離選手のスピードがあると消防署の方からお聞きしました。全員をまずは3階に上げる工夫などが必要と考えています。

*全校生徒が屋上に避難し、点呼が終了するまでの時間は4分59秒でした。想定した5分を切ったものの先生方や消防署の方から次のような意見や御指導をいただきました。

「走り出すクラスがあった。転倒の危険性があるので、校内早歩き、グランド駆け足の徹底を」

「津波が来た場合、生徒の動揺を抑えるためにも海側に背を向けるように整列させた方がよい」

「荒中は避難所となっている。一般の方が来ることを想定しもっと奥に並ばせるなどの工夫が必要」

「誘導の先生方以外は、避難経路の確保に努める（避難状況の観察のためとどまっていた）」

「避難経路に荷物があつた。（屋上に出る踊り場の上に体育祭の入場門の枠組みを保管している）避難経路をふさいだり、邪魔する危険物はすべて取り除く」

「(生徒に) 自分の身は自分で守る。その上で、地域では避難を助ける存在であってほしい」

*その後、生徒玄関前で起震車体験を行いました。



各学級から3人と学級担任が、体験しました。体験では、今までの「新潟地震」、「東日本大震災」「関東大震災」「スマトラ沖地震」の揺れの再現であったり、これから起こるかもしれない「東南海・南海地震」を想定した揺れを体験しました。

最初は、「すごい揺れだな」などと軽く見ていたのですが、本当にこの規模の地震が起こった場合、学校全体がこの規模で揺れた場合、どのように生徒と職員を守っていけばよいのかと、真剣に考えました。

まずは、自分の身を自分で守れる知識と経験をことあるごとに伝えていくことかなと思っています。ご家庭でも、最終的に落ち合う避難場所や非常持ち出し、連絡方法など話し合っていていただく機会にしてもらいたいと思います。

お原頁いゝ

先日の北関東・東北水害の折り、新潟県でも津川や鹿瀬の学校では、授業を打ち切り児童生徒を自宅に下校させました。その際、自宅に誰がいるかの確認や、自宅にいないければ学校に引き取りに来ていただくため保護者の方に連絡したところ、職場が変わっていたり電話番号が変わっていたりしてなかなか連絡が取れないケースがあったとのことでした。

当校でも、年度当初に緊急連絡先や引き取りに来ていただける方を届けていただいています。しかし、転勤シーズンの8月を終えた今、職場や職業が変わったりして年度当初と異なっている場合もあるかと思ひます。お電話で結構ですので、変更がある場合はご連絡くださるようお願いいたします。

秋といえば「勉強」の秋

秋は、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋と言われます。由来をひもとくと、米や野菜などの実り多いことから「食欲」が、人が最も集中するにふさわしい気温が18度前後ということから「読書」が、東京オリンピック開催月から「スポーツ」が出てきます。このように集中して物事に取り組むことに適した時期は、「勉強」の秋とも言えます。

荒川中学校は、お家の方のご支援やご協力により、落ち着いた学習状況にあります。学習面の成果も、Web配信問題の全校平均正答率は、全教科（国・数・英）県平均以上となっています。また、全国学力学習状況調査においても、±3.5ポイントが誤差の範囲内ということを考えれば、全教科（国・数・理）全国平均ということができます。これらのことから、荒川中学校はこれから学力をどんどん伸ばしていくスタートラインに立っているということが言えます。

学校評価でも、授業に対してチャイム着席、忘れ物、開始終了の挨拶、ノートの記録の項目の肯定的評価が90%を上回っています。宿題提出も80%とほぼ満足のいく数値を示しています。では、どうやったらここから伸びていくことができるのでしょうか。

各種調査などからそのヒントを探してみました。その中から

- ・自分の考えや意見を発表するのが得意とする割合が全国より4%程度低い。
- ・短い範囲で少ない問題のWebはよいのだが、範囲が1年間と長く、問題数も多いNRTの平均が平均（標準偏差50）に達していない。
- ・生徒質問紙から、日常の家庭学習時間は全国平均なのに、土日に2時間以上学習する生徒の割合は20%以上低い。
- ・家で予習・復習をやっている割合も、10%ほど全国平均より低い。

これらから、授業にはまじめに取り組んでいるが、受け身の授業態度であり、積極性が不足していることが分かります。また、家庭学習も日常的な宿題にはしっかり取り組み提出していますが、自ら予習・復習など与えられない課題には取り組んでいない姿が浮かび上がります。その結果、知識や考える力が定着せず、長い範囲や問題数の多いテストには対応できていないと考えられます。

今後は、学校では授業を、ただ先生の話の聞いたり黒板を写したりする授業ではなく、自分で考えたり、話し合ったりする授業に変えていく必要があります。そして、家庭学習では宿題だけで終わらず、自ら予習や復習に取り組むことが大切になります。そのためには、生活リズムを整え学習時間を確保し、計画的に家庭学習を進めていく必要があります。

ご家庭と学校がともに手を取り合いながらなくては、なかなか成果は得られません。巻頭にも書きましたが子どもの力を信じて、一緒に取り組んでいきましょう。きっと子どもたちは想像以上の力を持っているはずです。

10月の予定

日	曜	主な行事
1	木	いじめ実態調査、3年貧血検査 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px;"> 本日から3月第1週目まで 活動終了17:15、完全下校17:30 </div>
2	金	学力向上テスト（国）生徒会専門委員会 P T A理事（18:00）・評議員会（19:00）
3	土	
4	日	荒川バレーボール大会（体育館使用不可）
5	月	全校朝会、合唱発表順決定 完全更衣（服装確認お願いします） 第2回「生活習慣改善」強調週間～9日
6	火	いじめ見逃しゼロスクール集会（5・6限）
7	水	下越地区駅伝競走大会（五十公野）
8	木	学年朝会、生徒会代表協議会
9	金	学力向上テスト（数）、第2回英検
10	土	荒川保育園駐車場使用
11	日	
12	月	体育の日
13	火	学力向上テスト（英）
14	水	
15	木	1年生：職場訪問（13:35～） 2年生：新潟巡検（7:00坂町駅集合） 3年生：テスト
16	金	漢検
17	土	数検（10:00～）
18	日	剣道昇段審査（体育館使用不可）
19	月	生徒朝会、学年合唱練習
20	火	学年合唱練習
21	水	金曜授業、全校合唱練習
22	木	学年朝会、全校合唱練習
23	金	水曜授業、学年合唱練習、前日準備
24	土	青雲祭
25	日	
26	月	24日の振替休日
27	火	
28	水	第2回メディアコントロールデー
29	木	学年朝会、Q U検査
30	金	2学年P T A進路説明会（5・6限）
31	土	